

# 新型コロナウイルス感染症拡大状況下で 医学生は何をどのように学ぶべきなのか？ 名古屋大学医学部医学科の経験

名古屋大学大学院医学系研究科

総合医学教育センター 教授 錦織宏

神経情報薬理学分野 特任助教 黒田啓介

医学部附属病院 卒キャリセンター 病院助教 近藤猛

微生物免疫学講座ウイルス学分野 教授 木村宏

# 名古屋大医学部医学科のカリキュラム

- 1-2年生：全学教育科目（講義/実習）
- 2-4年生：基礎・社会医学（講義/実習）  
臨床医学（講義/PBL/臨床技能実習）  
研究室配属（基礎医学セミナー）
- 4年生秋：共用試験(CBT/実習前OSCE)
- 4-6年生：病院での臨床実習
- 6年生夏：共用試験(実習後OSCE)



# 2月末頃…



- 1月から始まっていた臨床実習の継続についての検討を開始
- 論点
  - 学生が名大病院で感染しないようにする
  - 学生が名大病院の患者に感染させないようにする
  - 医療者でもある教員の業務負担を考慮する
  - 感染防止に必要なマスクや防護服が十分あるか？
  - 医学生にとっては今こそ最大の学習機会になる

# 3月中旬



- 学部教育委員会の下にLMS (名古屋大学はSakaiを基盤としたNUCT)による学習環境の整備を担うWGを設置
- 学部教育委員会Covid-19対策WG
- WGが以後、新型コロナウイルス感染症に係る学部教育の対応を担うことに
- 本日はそのWGの活動内容を紹介

# コロナ感染拡大状況下の基本戦略 (1)

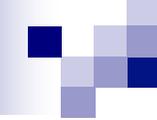
- 指示システムを明確にし積極的に情報を公開する
  - Covid-19対策WGで戦略を立案し、重要事項は学部教育委員会で審議し、教授会に報告
  - 講義・実習・試験の実施に関するガイドライン
  - 学内のHPで決定事項およびそのプロセスを公開
- 無理をしない
  - 学生も含めて現在大学に所属する構成員全員でやれる以上のことはできない
  - できる人ができることをやる(Bricolage)

# コロナ感染拡大状況下の基本戦略 (2)

- “コロナ留年”を回避する
  - 可能な範囲の学修と評価で単位を保証し、進級・卒業への道程(みちのり)を可視化
  - 学生運動のため授業がなくなった世代の医師
- 全ての学生に十分なインターネット接続環境が保証されるまでは同期型を全面展開しない
  - 現在、ほぼ全て学生のインターネット接続環境を把握し具体的な支援策を検討中

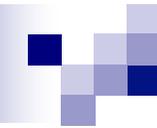
# コロナ感染拡大状況下の具体的対応

- 現在、学部生の来校は一切禁止
- **講義**は非同期型であるLMS(NUCT)上にアップロードした授業資料を用いた事前学習＋LMSで学生が適宜質問する反転授業
- **実習**はレポート課題を課して単位保証をした上で、任意で同期型オンライン実習
- **試験**は現在のところレポート課題に代替



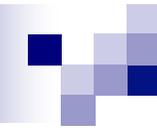
# Covid-19対策WGの学生委員

- 3月下旬、教員と事務職員だけで十分に対応できていなかったことがあり、学生に謝罪した上で、WGで我々と共に学部教育のコロナ対応に関する活動をしてくれる学生を募ったところ、各学年から1-6名、合計26名の学生が応募
- 様々な形で教員や学務課を助けてくれている



# WG学生委員の活動例

- 全学年：代替措置を考える際に学生の視点を提供。学生のインターネット環境に関する調査を実施して結果をまとめる
- 5年生：30をこえる臨床実習のレポート課題の内容および提出方法を教員とともに確認
- 4年生：学生が主体の形でオンラインPBLのパイロットを実施



# 解剖実習と臨床実習

## ■ 解剖実習

- 秋以降に実施するようカリキュラムを組み替え

## ■ 臨床実習

- レポートによる評価で単位認定を保証した上で、任意での同期型のオンライン実習を推奨
- 患者情報についての取扱が未解決
- 病院内のネットワークを使うことを検討

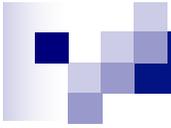
# 共用試験OSCEと研修病院見学

## ■ 共用試験OSCE(オスキー)

- 夏から秋に実施予定だが現状が続けば実施は困難
- もう少し落ち着けばサッカースタジアムで青空OSCEなどは可能か？

## ■ 研修病院見学

- 複数の研修病院を見学して研修病院を決定
- オンライン見学を実施している研修病院はある



# 教員向けICT教育のサポート

- 全ての授業が集中講義形式であるため医学部独自の対応が必要
- 全学の情報基盤センターと連携しLMSの管理・運営をWG(主に黒田助教と近藤助教)が担当
- LMSの使い方に関するFDを実施
- 同期型オンライン授業のサポートは、全ての学生の環境が整い、要員が確保できてから

# 最後に私見を…

- 現在、新型コロナウイルス感染症による不安と恐怖が、社会全体を覆っているように感じています。
- 学生教育に関しても先行きの見えないことが多い状況にあり、そのためか、他人を不要に批判したり、暴力的に正論を振りかざしたり感情的になったり、という場面をこれまでに何度か見ることであります。

# 最後に私見を…

- 有事に不要な議論はせず、現場の専門家に任せるとするのは私が友人から教わった吉本隆明の思想ですが、現在の状況下で本学の教育を考えるにあたって、そのような姿勢を大事にしたいと私個人は考えています。
- 不確実なことが大変多い状況にありますが、できるだけお互いの立場や状況を想像したり配慮したりしながら、できることをやる、という姿勢でこの長期戦を乗り切ることができればと考えています。